

府中市健康地域づくり審議会
第18回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：平成31年1月31日（木）15時00分から16時30分まで
(2)場 所：市役所4階第二委員会室
(3)出席者：宮 口 英 昭（分科会会長） 重 森 由 枝（分科会委員）
前 原 裕 吉（分科会委員） 守 屋 綾 子（分科会委員）
樽 好 美 子（分科会委員）
(4)欠席者：谷 秀 樹（職 権 委 員） 橘 高 積（分科会副会長）
藤 本 命 壮（分科会委員）

2 概要

- (1)開 会
(2)分科会会長あいさつ
(3)議事

①平成30年度熟年元気づくり分科会の活動について

●関係資料の説明

事務局から「政策指標・重点項目の概要について」について、資料により説明を行った。

②平成30年度の取り組みについて

ア. 生きがい創業ビジネス補助金

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創業ビジネス補助金」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 市からどのようなサポートを行ったか。
- コミュニティ・キッチンの継続性はどうか。

イ. プラチナ大学

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学」について、資料により説明を行い、意見を求め

た。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 連続講座だが、参加者が減っていることが気になる。連続して受講していた
だけることが課題。
- プラチナ大学の狙いに対する成果が出ていない。

ウ. 育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築

●関係資料の説明

事務局から「育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築」について、
資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 他課で実施している事業とのマッチングはできないのか。府中市で実施して
いるいろんな事業をまとめたほうが良いのではないか。
- この事業単独での実施は困難ではないか。

エ. コミュニティ・キッチンの開設支援

●関係資料の説明

事務局から「コミュニティ・キッチンの開設支援」について、資料により説明
を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- コミュニティ・キッチンの中に子どもを預かる事業や、認知症カフェのよう
なものを関連付けてはどうか。

③平成31年度の取り組みについて

ア. 生きがい創出事業

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創出事業」について、資料により説明を行い、意見を求
めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 非営利で行う場合、新規にやるには補助の額も少ないので、この案で申請が

出てくるのかイメージができない。

○どんなことが地域貢献活動として考えられるのか。

○どんな事業が補助金の対象となるかをイメージしやすくしたほうが良い。

イ. プラチナ大学事業

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学事業」について、資料により説明を行った。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○プレ講座のようなものを実施するなど、参加につながる取り組みを実施してはどうか。

ウ. 高齢者と親子が関わる多世代交流事業

●関係資料の説明

事務局から「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」について、資料により説明を行った。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○支援を行っている他の部署との調整や、制度構築をじっくりやることを一つの事業として考えても良いのではないか。

○一箇所できるということが目標になると、その達成に追われて元気高齢者が増えるという目標にむけた全体の取り組みが見えにくい。

○モデルになるところを後押しして支援するという目標でも良いのではないか。

(4)閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」、「コミュニティ・キッチン」の開設支援、「育児・家事支援への高齢者派遣等事業」へのご指摘・ご意見等を来年度の運営に生かしていくとともに、平成31年度の取り組み施策等については、審議会への報告事項とする旨を述べた。

宮口会長から、「今日頂いた意見を活かしていただくとともに、元気な高齢者のために今後とも活発なご意見をお願いしたい」と挨拶があり、閉会とした。